

江戸時代から
科学の子ども。



その少年は幼い頃、外国の物理学者が書いた理化学機器の原理の本を父から与えられた。外国語にもかわらず、想像力を働かせ、仕組みを理解し、図の通りに実物を作り動かした。父の名は、当時科学立国を目指す日本において、教育用の理化学機器の開発で島津製作所を創業した、初代島津源蔵。少年は、後に島津製作所と父の名前を受け継ぎ、日本の十大発明家のひとりにも選ばれた二代目島津源蔵。親子ともども科学の子どもであった。

さて、私たちが人類はこれまでに、知恵の限りを尽くし様々な課題を解決してきましたが、今ほど科学の真のチカラが問われている時はないかもしれません。振り返れば、島津製作所は創業以来137年間、この国の科学とともに歩んできました。

「科学技術で社会に貢献する」という社是を心に刻み、挑戦を続けてきました。人と地球に関する未知の領域を解き明かすために、世界中の科学者と研究を共にしてきました。そこにはいつも強い使命感がありました。

それは人類がいつも安心して暮らせる確かな未来を創るということでした。そのためには、現状の科学に満足してはいけい、常に進化し続けた新しい科学が必要だと考えてきました。島津製作所はこれからも、未来を見すえながら信念と貫き、独自の視点で研究し、知識を集積し、技術を磨こうと思います。現在の科学をはるかに超える科学、社会の役に立ち、人に幸せをもたらす「卓越した科学」を目指しつづけます。

創業者のDNAを受け継いだ科学の子どもとして。

Excellence in Science

株式会社 島津製作所

分析計測機器 | 医用機器 | 航空機器 | 産業機器
www.shimadzu.co.jp